

リスク管理に関する パネルディスカッション

2026年5月25日

環境・リスク認識の変化

これまで新型コロナ拡大、ロシア・ウクライナ紛争、相互関税等の外部環境変化に対応
足元では、中東紛争等の地政学リスク、サイバー脅威、流動性リスク等、外部環境の不確実性が一段と増大

FY2019

深刻な感染症の流行

- 新型コロナ感染拡大・活動制限・都市封鎖

世界経済の減速

- コロナ影響による信用リスク顕在化、景気低迷

米中覇権争い

- 中国企業への制裁強化
- 台湾を巡る軍事的緊張

FY2022

ロシア・ウクライナ情勢緊迫化

- 欧米の対ロ経済制裁
- 資源供給不安定化

資源価格、金融市場の急変動

- 資源供給途絶による景気後退

世界経済の減速

- インフレ高進、金融引締め加速

FY2025

不確実性増大

軍事的な緊迫状態の増大・紛争の深刻化

- 中東紛争長期化・供給途絶
- ロシア・ウクライナ、米ベネズエラ攻撃等

サイバー空間における脅威の増大

- AIを活用したサイバー攻撃

円貨預金獲得競争の激化

- 円貨預貸バランスの悪化

金融市場の急変・外貨調達環境の悪化

- プライベートクレジット等の信用不安の拡大
- AI関連株等の金融市場の急変

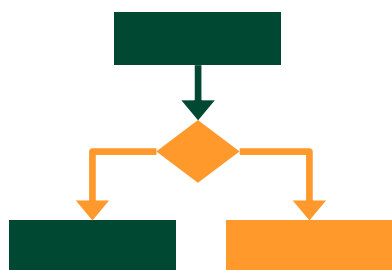
米国の国家ガバナンスの変容による予見性低下

- 包括的関税政策とそれに対する最高裁判決
- 国家安全保障戦略の公表（ドンロー主義）

不確実なビジネス環境に対するレジリエンス強化

リスクの高まり懸念

トップリスク／波及経路



- 内外事象を踏まえて、経営上、特に重大なリスクを**トップリスク**として選定
- リスクの**波及経路**を整理し、シナリオを具体化

予兆把握／ストレステスト



- 波及経路に応じた指標を設定し、**予兆管理**を実施
- **ストレステスト**により、業務影響を分析

リスクへの対応



- リスク顕在化の状況に応じて、業務運営の見直しなど**予防的対応**を実施
- 事前に危機時における**アクションプラン**を整備

リスク波及経路分析・予兆把握の態勢

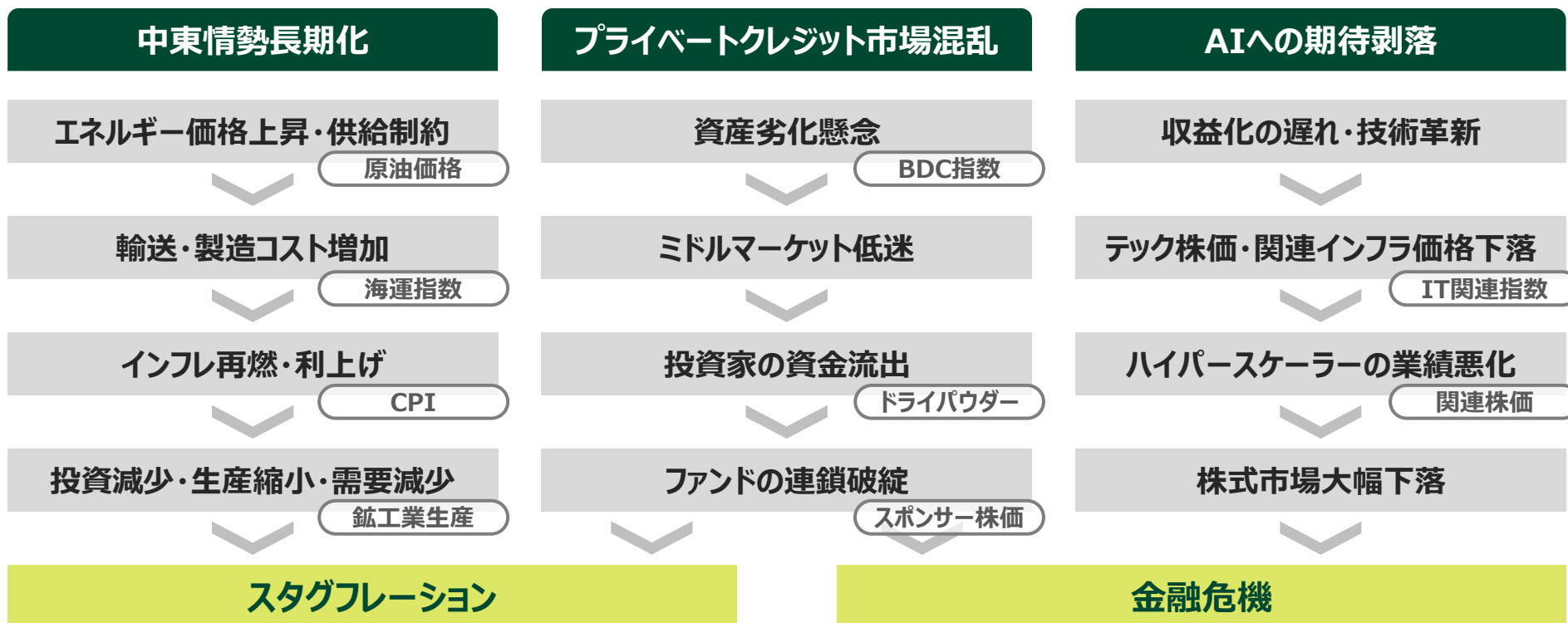
複数のリスクが同時に顕在化するようなシビアケースを含めて、リスクの波及経路を整理

リスクシナリオとして、中東情勢の長期化、プライベートクレジット市場の混乱、AIへの期待剥落を想定

➔ 波及経路に応じて、関連する経済・金融指標を設定。各指標に管理水準を設定し、示現状況を見える化

▶ リスク波及経路・モニタリング指標例

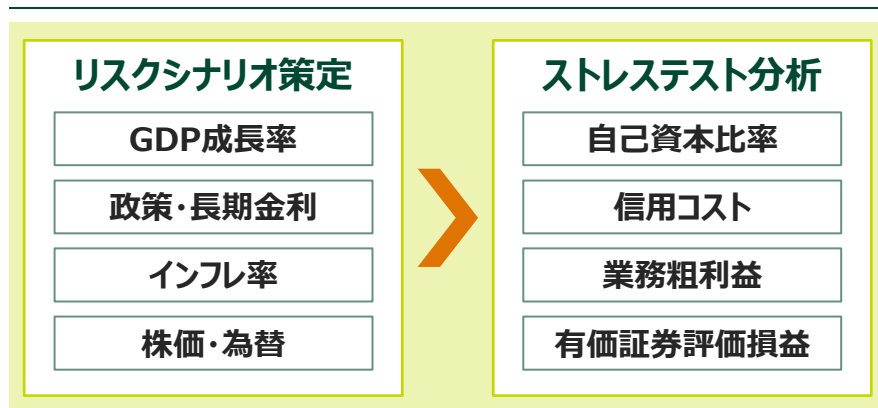
例



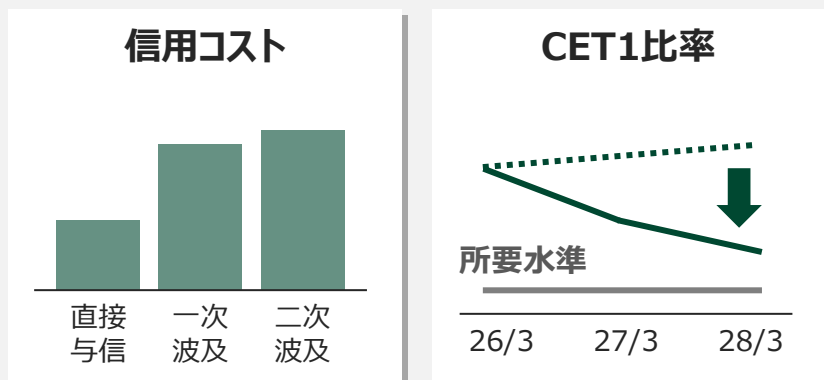
ストレステスト／リスクへの対応

ストレステストにより、リスクシナリオ示現時の財務の健全性を分析し、経営資源の余力等を確認
与信運営見直し等の予防的対応のほか、危機時におけるアクションプランを整備

▶ ストレステスト



ストレステスト結果（イメージ）



▶ リスクへの対応

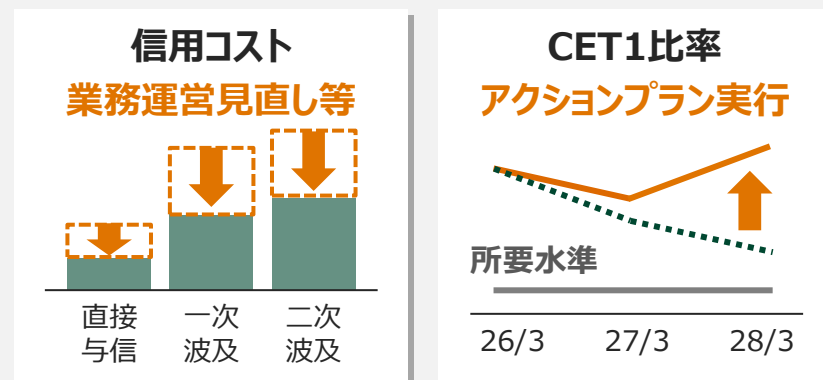
予防的対応

- リスクの状況に応じた業務運営方針
- 業種別与信運営・案件採り上げ基準の見直し

危機時の対応態勢の整備

- 危機時におけるアクションプランを整備
- 訓練等によるアクションプランの実効性向上

リスクへの対応（イメージ）



リスク管理の基本方針

新中計で達成したいこと

SMBCグループの挑戦を支える堅牢かつ先進的なリスク管理態勢の整備

不確実なビジネス環境や 複雑化するリスクに対する レジリエンス強化

ビジネス環境

- 国内の金融政策正常化
- 米国のインフレ再燃や金融不安
- 地政学的緊張の高まり 等

- バランスシート運営の高度化
- ストレストテスト・予兆管理を強化
- 有事の即応力向上

事業戦略の実現に向けた 健全なリスクテイク推進

事業戦略

- アジア・資本市場のビジネス拡大
- アセットライトビジネスの強化 等

- リスク管理態勢の整備
- リスクカルチャー醸成

グループベースのグローバル リスク管理基盤の構築

リスク管理を取り巻く環境

- 人材確保の難易度が上昇
- リスク管理の領域・求められる専門性の幅の拡大

- リスクガバナンスの強化
- システム整備やAI活用の推進

リスク委員会の概要

監督

取締役会

指名委員会

報酬委員会

監査委員会

リスク委員会

サステナビリティ
委員会

執行

グループ経営会議

各種委員会

▶ リスク委員会の概要

位置付け	三井住友フィナンシャルグループの取締役会における内部委員会
開催頻度	原則年4回
審議対象	取締役会の委嘱を受け、株主利益の観点から、次の事項を審議し取締役会に助言 ① 環境・リスク認識とリスクアペタイトの運営 ② リスク管理に係る運営体制 ③ その他リスク管理上重要な事項

▶ メンバー

独立社外 取締役	レイク取締役	アフラック生命保険代表取締役 会長、委員長（24/9月-）
	手代木取締役	塩野義製薬代表取締役会長 兼社長・CEO
社内 取締役	安地取締役 執行役専務	グループCFO・グループCSO
有識者	山口日興リサーチ センター理事長	元日銀副総裁
	山崎特任教授	元財務省財務官